

## 2020年度事業報告

### 1. 基本方針

2020年度の事業計画に基づき、下記の通り事業を実施した。

### 2. 事業内容

#### (1) 心身障害児者を援護する事業（定款第4条第1項第1号事業）

心身障害児者の支援など社会福祉の充実に寄与するため、歳末助け合いの援護金を募集。県民から寄せられた70万円（歳末援護金63万4297円、一般寄付金6万5703円）を2021年1月22日に県社会福祉協議会に寄託した。

#### (2) 心身障害児者の支援活動に対する助成事業（定款第4条第1項第1号事業）

心身障害児者や体の不自由な人々の支援に携わる施設・団体の事業や活動を募集。2020年10月21日に「心身障害児者の支援活動に対する助成事業」審査会を開き、障害児者の支援活動を行う5団体への助成を決定した。同年11月30日、福島民友新聞社本社で贈呈式を行い、1団体30万円を上限に、総額146万59円を助成した。

##### [助成先]

- \*NPO法人がんばろう会（平田村）30万円
- \*NPO法人くるりんこ 障がい福祉サービス事業所 ステップボード（喜多方市）30万円
- \*NPO法人夢あるき 夢の樹（会津若松市）30万円
- \*放課後等デイサービスむすび 天神教室（福島市）26万59円
- \*NPO法人みんなのしあわせプロジェクト 工房もくもく（相馬市）30万円

#### (3) 女性の自立生活支援事業（定款第4条第1項第1号事業）

保護施設に入所した女性が自立した社会生活を送るための支援を行っている県婦人保護推進会に、2021年1月28日、活動資金として20万円を助成した。

#### (4) 社会福祉推進事業（定款第4条第1項第1号事業）

高齢者、障害児者、経済的に苦しい家庭の子どもなど、社会的に弱い立

場にある人々の支援に取り組む団体の事業や活動を募集。2021年2月19日に審査会を開き、「子ども食堂」などの活動を通して、子どもの貧困問題や居場所づくり、親と子の支援に取り組む5団体を選定。3月15日、活動資金として1団体20万円、総額100万円を助成した。

[助成先]

- \* NPO法人NEXTしらかわ（白河市）
- \* 佐川商店 福笑門--FUKUEMON--（郡山市）
- \* NPO法人つなぐ舎（会津若松市）
- \* 任意団体のんびりキッチン（鏡石町）
- \* 地域のコミュニティー“場所づくり”“巣づくり”子どもカフェたまご（福島市）

(5) 社会福祉普及啓発事業（定款第4条第1項第2号事業）

聴覚障害者を支援するボランティアの育成を図るため、県聴覚障害者協会と協力し手話講座を開催した。

- \* 入門講座 2020年10月17日～12月19日まで、全10回

(6) 福祉活動顕彰事業（定款第4条第1項第2号事業）

高齢者、障害者、若者、子どもなど支援を要する人々に対し、地域において積極的にボランティア活動を続けている5団体に対し「福祉活動奨励賞」を贈呈。2020年11月30日、福島民友新聞社本社で表彰し、1団体10万円、総額50万円を贈呈した。選定については、「心身障害児者の支援活動に対する助成事業」審査会において、県社会福祉協議会からの推薦を受けて決定した。

[助成先]

- \* ボランティアサークル チャチャチャ♪（福島市）
- \* 福島市おもちゃクリニック（福島市）
- \* 視覚障害者とコンピュータ勉強会「あい&あい」（会津若松市）
- \* あいづ小さな風の会（会津若松市）
- \* ぼんじょいの会（郡山市）

(7) 各種災害時等における義援金受け付け事業（定款第4条第1項第3号事業）  
〈福島コロナ医療支援金〉

120件、271万9377円が寄せられた。

- ①マスク4万枚（145万2000円）を購入し、2020年5月18日に福島県へ寄贈した。

② 8月5日に120万円（支援金108万6577円、一般寄付金11万3423円）を県医師会へ寄託した。

③ 2021年3月30日に18万800円を県医師会へ寄託した。

〈福島県沖地震義援金〉

24件、40万2996円が寄せられた。一般寄付金9万7004円を加え、2021年3月23日に福島県へ50万円を寄託した。

〈東日本大震災義援金〉

2件、7万円を県の東日本大震災ふくしまこども寄付金に寄託した。

〈九州豪雨義援金〉

73件、157万6621円が寄せられた。

① 2020年8月6日、150万円を熊本県へ寄託した。

② 同年12月10日、日赤県支部へ7万6621円を寄託した。

〈山形豪雨災害義援金〉

1件、2万円を山形県へ寄託した。

#### (8) 社会福祉を増進するための事業（定款第4条第1項第4号事業）

社会福祉推進事業の贈呈式の際に、助成団体の活動内容をそれぞれ発表、紹介する形で「子ども食堂」などの取り組みに対して活動団体同士が理解を深める機会を設けた。

#### (9) その他（定款第4条第1項第4号事業）

新型コロナウイルスの感染拡大でマスク不足が続いていたことから、障害がある人や経済的に恵まれない子どもたちにマスクを調達し、配布することを企画。2020年5月8日に県社会福祉協議会へマスク3万枚（108万9000円）を寄贈した。内訳は、特定費用準備資金（災害救援準備資金）100万円と一般寄付金8万9000円を充てた。

### 3. 運営関係

#### (1) 会議の開催

##### ① 理事会の開催

◇第30回（通常）理事会 2020年5月13日

開催方法 決議省略の方法

決議事項 2019年度事業報告及び附属明細書の承認

2019年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認

- 書面決議による第15回定時評議員会の開催について
- 報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況報告
- 基本財産及び特定資産の運用と使用の状況について
- その他 定款第23条第3項の定めによる報告
- 定款第24条第1項の定めによる報告
- ◇第31回 臨時理事会 2020年5月29日
- 開催方法 決議省略の方法
- 決議事項 「福島コロナ医療支援金」の使途について
- 特定費用準備資金（災害救援準備資金）の目的内取り崩しについて
- ◇第32回 臨時理事会 2020年6月12日
- 開催方法 決議省略の方法
- 決議事項 第16回臨時評議員会の開催について
- ◇第33回 臨時理事会 2020年7月10日
- 開催方法 決議省略の方法
- 決議事項 理事長（代表理事）の選定について
- 辞任に伴う審査委員の選任について
- ◇第34回 臨時理事会 2020年9月24日
- 開催方法 決議省略の方法
- 決議事項 第17回臨時評議員会の開催について
- ◇第35回（通常）理事会 2021年3月19日
- 開催場所 福島民友新聞社本社5階役員会議室
- 決議事項 2021年度事業計画の承認
- 2021年度収支予算の承認
- 資金調達及び設備投資の見込みについての承認
- 特定費用準備資金（助成事業拡大資金）積立限度額算定方法の一部変更の承認
- 報告事項 特定費用準備資金（災害救援準備資金）の目的内取り崩しに関する報告
- 理事長及び常務理事の職務執行状況報告
- その他 定款第23条第3項の定めによる報告

## ② 評議員会の開催

- ◇第15回 定時評議員会 2020年6月5日
- 開催方法 決議省略の方法
- 報告事項 2019年度事業報告

決議事項	2019年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）並びに財産目録の承認
報告事項	2020年度事業計画並びに収支予算について
定例報告	第30回（通常）理事会の決議内容について
◇第16回	臨時評議員会 2020年6月22日
開催方法	決議省略の方法
決議事項	辞任に伴う理事の選任
◇第17回	臨時評議員会 2020年10月8日
開催方法	決議省略の方法
決議事項	辞任に伴う評議員の選任

#### 4. 役員

##### (1) 2021年3月31日現在の役員

理事長	中川 俊哉	福島民友新聞社代表取締役社長
常務理事	菅野 篤	福島民友新聞社常務取締役総務局長
理事	安齋 睦男	福島県社会福祉協議会副会長
	石井 浩	福島県商工会議所連合会常任幹事
	初澤 敏生	福島大学人文社会学群人間発達文化学類教授
	藤島 初男	福島県立医科大学法人経営室長・ ふくしま国際医療科学センター副センター長
監事	今井 明	税理士法人今井会計事務所 代表社員税理士 (公認会計士・税理士)
	蟹江 卓也	福島民友新聞社経営企画室次長・ 総務局財務経理部長

#### 5. 評議員

##### (1) 2021年3月31日現在の評議員

評議員長	中澤 剛	学校法人中沢学園理事長
評議員	熊川 恵子	福島県社会福祉協議会事務局長
	駒木 根尚	福島中央テレビ専務取締役
	篠木 敏明	日本赤十字社福島県支部事務局長
	寺主 君男	いわき経済同友会常任幹事
	廣中 正則	読売新聞東京本社福島支局長
	菅野 芳美	福島民友新聞社常務取締役事業局長

2020年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。